

長崎県漁業協同組合連合会長賞

魅力ある経営体部門 技術・担い手の部



取締役 犬東 ゆかり氏

代表取締役 犬東 徳弘氏

受賞者名：有限会社丸徳水産^{まるとくすいさん}
市 町 名：対馬市
主な取組：食べる磯焼け対策
「そう介プロジェクト」

1. 取り組みの概要

- ①食植性魚類であるイスズミは、独特の臭みがあり対馬では殆ど消費されず、漁獲の対象にもなっていないため、藻場の維持回復において大きな障害となっていることに着目し、イスズミの利活用を通じた藻場回復活動として「そう介プロジェクト」を開始した。
- ②効率的な魚体処理技術と独特な臭いを除去する加工法を開発し、冷凍保存することで、大量水揚げに対応できる体制を確立した。併せて、対馬島内の定置網漁業者の協力を得て、水揚げされたイスズミを集荷する流通経路を構築した。さらに、イスズミ魚肉の身質に合わせた料理をつくる技術も開発した。

2. 受賞理由

- ①流通に乗らなかったイスズミを同社が買い取るようになったことから、藻場回復活動の中でイスズミの廃棄処理等の手間が省かれるとともに、加工原料として同社に供給する定置網業者も増えており、地域漁業者の水揚げ意欲の向上に大きく貢献している。
- ②考案したメンチカツ「そう介」は、第7回 Fish-1グランプリのファストフィッシュ部門で本県初となるグランプリを受賞しており、魅力ある商品づくりを通じた藻場回復活動のさらなる拡大と波及効果が期待される。



イスズミ料理講習会



そう介メンチカツ



Fish-1 グランプリ授賞式



Fish-1 グランプリ